

～TANKYU～

谷地南部小学校
校内研究だより
2022. 11. 11
No.28 文責 伊藤

子どもに大切な「成功体験」？

学校で重視されることが多い「成功体験」。確かに大切であることは間違いありませんが、本当に今の子ども達にさせるべき体験は成功体験なのでしょうか？私は、成功体験を積み重ねて自信をつけさせたいなあとと思います。成功すると嬉しくなるので、一步踏み出してチャレンジする機会は増えるだろうとも思います。しかし、ある日 SNS をチェックしていると、次のような内容が目に入ってきました。

教育界ではよく「成功体験」が重視されているけれど、それよりも大切なのは、「失敗しても大丈夫、なんとかなる、誰かが支えてくれると感じられる『失敗の安心体験』」。

自分が成功した時の喜びを強調するよりも、失敗した時の怖さを小さくする方が、人は新しいことにチャレンジする。

(Twitter より引用)

確かに、安心できないとチャレンジすることにも積極的にはなれない気がします。逆に、「失敗しても、またチャレンジすればいい」「うまくいなくても、仲間がフォローしてくれる」「失敗したときは、〇〇さんにコツを聞いてみよう」という思考になることができれば、恐れずに一步踏み出すことができますね。まさに、学級経営の充実がチャレンジできる子ども、しなやかに生きる子どもを生むのかなと思います。

私事ですが、私は今年度 33 歳で「教職 5 年経験者研修」を受けています。えーっと、計算が合いません…。採用試験に合格して正式採用になるまで、6 回採用試験を受験しました。最後まで受け続けられたのは、「何とか、講師としては働ける」という思いとご一緒した先輩の先生方に支えていただいたからだと思います。名ばかりで何もできないことだらけでしたが、相談に乗っていただいたり仕事を引き継いでいただいたりして育ててもらった経験があるから何とか今も仕事できています。それにあの頃は、当日の 5 時まで何の予定もなくても、先輩方に声をかけていただいて夜の街に出かけていたなあとと思います。河北に来て好きになった「飲みニケーション」です。

安心できると頑張れます。子ども達にも、安心のもとでたくさん失敗させましょう。そして、大人を含めたみんなでフォローしてあげましょう。体育の授業で大切なのは、「思い切りチャレンジできる場やシステム」だと聞いたことがあります（他の授業でも同じですが）。何でもかんでも自分一人できなくても、周りを頼って最終的に何とか形になれば、十分及第点のような気がします。そんな環境（場やシステム）を、私自身も作っていきたいと思います。